



# うみぼうずのおもてなし

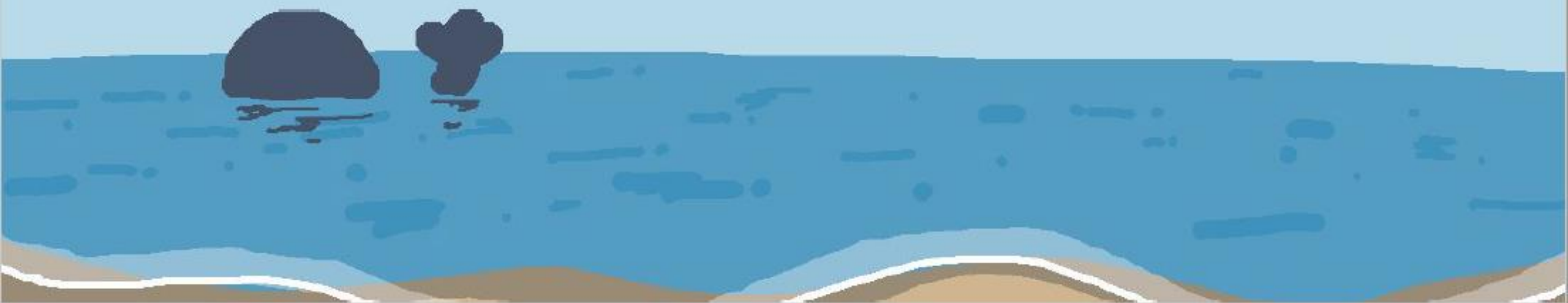
北海道函館中部高等学校 村田吏


ここはどこかの<sup>うみ</sup>海。

「みなさん こんにちは。うみぼうずです。」

今日は特別に、海にあそびにくる人<sup>ひと</sup>たちへの“おもてなし”のよう<sup>み</sup>すを見せてくれるそうです。

だれにも見<sup>み</sup>つからないようにするのが仕事<sup>しごと</sup>のきまりらしいですよ。





まずはあつめておいたとっておきの貝かいがらを  
砂浜すなはまにならべていきます。

そろそろたくさんの人びかんがくる時間。

つぎの仕しごと事にうつりましょう。

ちかしご

ここからがカ仕事。

りょうて なみ

うみぼうずは両手で波をザブーンとおこします。

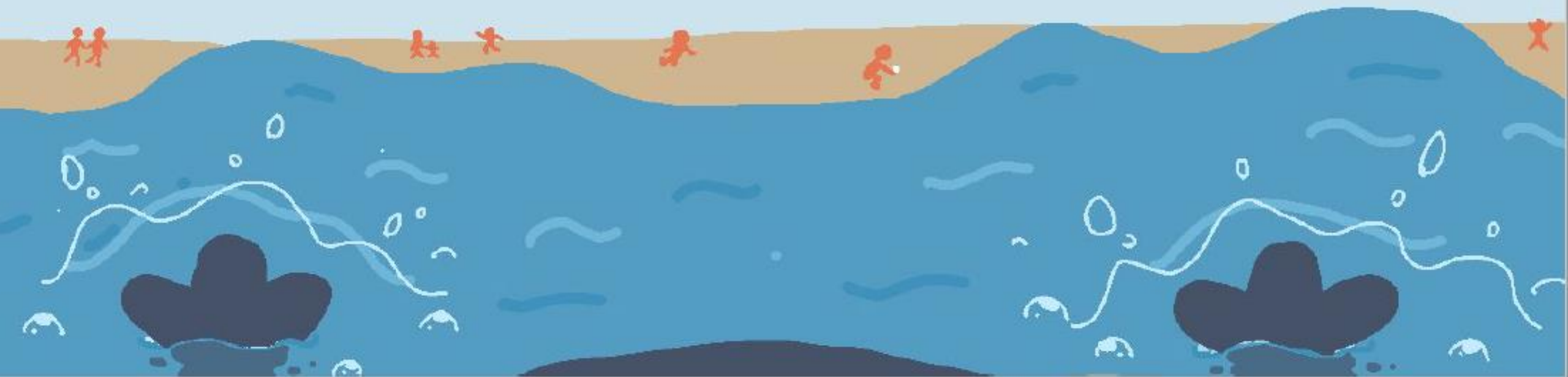
なみ おと

がい み

「いい波の音だね。」 「きれいな貝がら見つけた！」

こえ

よろこぶ声がきこえてきます。





よる ひと  
夜になると人がいなくなってしずかになります。

うみ ひと おとこ こ  
そんな海に一人の男の子がやってきました。

ぜんぶ  
「もう全部がいやになった。どこか遠くへ行きたい。」


な  
泣きながらつぶやきました。

しごと あ  
うみぼうずの仕事はまだ終わりません。

「そうか、それなら…」



<sup>とが</sup>  
遠くにつれさってさしあげましょう。」



<sup>おとこ</sup> <sup>こ</sup>  
男の子はおどろき、  
こわくて目<sup>め</sup>をかたくつむりました。

しばらくして目をあけると男の子はうみぼうずの上うみぼうずにいました。


「前まえを見てみごらん。」

見てみると丸く大きな月つきが、海うみに光ひかりの道みちをつくっていました。

やわらかな風かぜ ゆれる光ひかり

男の子おとこはうとうとして、しずかに眠りねむにつきました。





目がさめると男の子は砂浜にいました。  
朝焼けが海を赤く照らしています。

「ありがとう。」  
そう言って、男の子は海を背に歩きだしました。  
うみぼうずはしずかに見守ります。  
見送るまでがおもてなしですよ。